

第89回 令和7年9月24日（水）

長雨の季節になりました。この時期気をつけなくてはいけないのが台風です。日本近海の水温が高いので強い台風が来るかもしれません。何かが飛んでくるとか、冠水してマンホールの穴に落ちるなどの事故がおきます。平常時に危険な場所を見ておくとよいかもしれません。

私は以前津久井高校に勤めた経験がありますが、先日相模湖から津久井につながるバス路線が何本か廃止されるというニュースがありました。地域住民にとっては病院や学校に行くための大変な交通機関でした。

日本全国で鉄道やバスの廃止が相次いでいます。採算が取れないことに加え、運転手の人手不足が大きな要因です。

自動運転技術はいまどの段階なのでしょうか。0から5のうち、2のあたりということです。5が完全自動運転だとすると、2は自動ブレーキシステムや衝突防止機能が装備されている段階、3になると高速道路などの一部の道路では人間の運転がいらなくなります。

高齢化で車の運転ができなくなってもなかなか免許が返納できないお年寄りが増えています。理由は病院に行く交通機関がないから。運転がしたいというよりはやむにやまれぬ事情です。

自動運転も6Gが普及するとかなりできることが増えるみたいです。AIの処理能力が格段に上がりますから瞬時の突発的な事態にも対応可能になります。

2040年には空飛ぶ車も可能になると言われています。もちろん全部空を飛んだら空中で渋滞が起きてしまうので、救急車や消防車などの緊急車両が空を飛ぶことになると思いますが。

自動運転がなかなか普及しない理由に法整備が追いついていないことがあります。AIの誤作動による事故の責任がだれにあるのか。運転手か。開発・販売した会社か。緊急でよけた際に別の人や建物に接触してしまったら誰が賠償するのか。そこがクリアにならない限り道路上で走ることは難しいでしょう。

とはいっても、2040年には3人に1人は高齢者です。バスの廃止路線もますます増えることでしょう。普及するまでの年数を考えればそろそろ技術開発ができていない間に合いません。

一人一台、小型の自動運転車が普及して病院などに運んでくれる世界になるといいですね。交通事故もほとんどなくなるだろうし、渋滞も回避機能のおかげで発生しないでしょう。いずれは免許すら必要なくなるかもしれません。

高齢者が無理に運転している状況がなくなるといいですね。

